

服育net研究所



2019年度
報告書

服育 net 研究所について

服育 net 研究所は、服育に関する調査・研究、及び普及・啓発を進めるため設立されました。

誰にとっても身近で毎日必ず着用する衣服は、生活の基本であるだけでなく、世界の様々な事柄とつながる「着る」以上の可能性を含むものです。

私たちはその衣服の力を一人でも多くの方へ伝え、

服育の輪を広げていきたいと考えています。

服育を通して生まれた衣服を大切にできる気持ちや衣服について考える思考は、豊かなこころを育み、「生きる力」の醸成へとつながっていきます。

服育研究所の目的

■服育に関する調査・研究を行い、衣服の持つ力についてより多くの人へ伝えるべく服育の普及・啓発活動に取り組む。

■服育を通して豊かなこころを育み、生きる力の醸成へとつなげていく。



No.1

服育学びツール（服育教材）

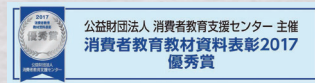
目的：服育について具体的に学ぶための教材（服育学びツール）を開発し、主として教育現場における活用を促進する。

グループワークツール 教職員向けの研修や服育website等を通じて積極的に紹介。希望する学校関係者へは無料にて配布。

①制服の一生すごろく

目的：制服の一生(原材料-縫製-着用-リサイクル・廃棄)すごろくを通して、制服のライフサイクルと各段階の環境影響について知り、環境のために自分にできることを考えるきっかけとする。

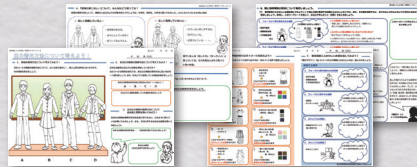
支援学校等から要望ある場合は、ルビ付きすごろくを配布するなど、要望に応じて対応。



グループワークツール 教職員向けの研修や服育website等を通じて積極的に紹介。希望する学校関係者へは無料にて配布。

②服育着こなしワークシート

目的：「着装衣服と着用場面のふさわしさ」について考え、普遍性のある「着こなし」を身に付ける。



参加型ツール

③第10回服育標語ポスター

目的：制服についての思いを言葉で表現し、改めて制服について考えるきっかけとする。

テーマ：スクールユニフォーム

応募資格：特になし

応募総数：約 4000 通



ものづくりツール

④バトンバッグ

目的：環境（制服の残反を活用）、福祉（福祉作業所でバッグに加工）、教育（子ども達の手でバッグをアップサイクル）、国際（ソロモン諸島でエコバッグとして活用）といった4つの観点を持つバッグを、バトンのように渡しながら多様な主体をつなぎ、それぞれの観点について考えるきっかけとする。

応募資格：高等学校・専門学校・大学に在籍する学生・生徒

募集枚数：100枚

※1枚のバッグを2人で仕上げる学校もあり、100名以上の学生・生徒が参加



<ソロモンでの活用>

NPO法人子ども環境活動支援協会(兵庫)がJICAの草の根技術協力(パートナーシップ型)として行う「環境学習推進プロジェクト」の一環として活用。

使い捨てのプラスチックバッグに代わるエコバッグとして、首都ホニヤラ市内の子ども達へ提供。



No.2

学校での服育セミナー、服育授業

目的：自分が着用している服(制服)の役割や着こなし、更には環境問題等について説明し、服の大切さについて気づき、考える場としてもらう。
(学校の希望する内容について事前打ち合わせし、要望や発達段階に応じてコンテンツを作成。)

①制服着こなしセミナー、授業

TPOの意味や制服をきれいに着こなすコツなどについて講演。
主に新入生を対象とした依頼が多く、全国の小中高で開催。

②社会に出る前の着こなしセミナー

社会に出る前の生徒(高校3年生)に対して、社会人としての衣服(スーツ等)の意味やTPOに応じた着こなしについて講演。キャリア教育の一環としての依頼も。



③支援学校・支援学級でのセミナー

支援学校や支援学級に通う障がいを持つ生徒向けに、服の着こなしの大切さやポイントについて分かりやすく説明。
セミナー後に自分達で服のコーディネートを考え、ファッションショーを行った学校も。



④環境授業

服と環境問題の関わりや、自分達にもできることについて説明。

No.3

服育ラボ定期セミナー

目的：服育の多様なテーマを、より専門的に学ぶ場として開催。
対象：学校・教育関係者

第22回服育ラボ定期セミナー

日時：2019年8月5日(月)14:00-16:00

場所：ブリーゼプラザ803・804

セミナー：持続可能な社会と学校のカリキュラム～SDGsに取り組むために～
大阪市立大学 教授 添田晴雄

トークセッション：衣服に何ができるのか？
Think Globally, Wear Ethically

添田晴雄×有吉直美(服育net研究所)



No.4

全国の服育研究会とのコラボレーション

目的：エリアの実情や要望を踏まえてイベント等を企画・開催し、各エリアにおけるより一層の服育の普及を目指す。

①京都服育研究会

テーマ：私の通学服
 (京都府内において標語を募集、ポスターを作成し学校へ配布)



②愛知服育研究会

■服育発表会を開催
 日時：2019年8月27日(火)16:00-18:00
 場所：ウインクあいち10階 1001会議室
 セミナー：子ども達の"安全"のために
 ～学校と家庭で共に育てる"守る力"～
 明治大学名誉教授 向殿政男



③九州服育研究会

■研究会を立ち上げ、服育定期セミナーを開催
 日時：2019年8月21日(水)14:00-16:00
 場所：エルガーラホール 7F多目的ホール
 セミナー：服育で育む豊かな心とコミュニケーション力 ～何が伝わるのか、何を伝えるのか～
 服育net研究所 有吉直美
 事例紹介：衣服で唯一「福岡県産リサイクル」認定ユニフォーム(チクマ 藤和弘)
 最後まで責任を!着用後ユニフォームリサイクル(NCS 濱本美由紀)
 交通事故から子ども達を守る!高視認性ベスト(ムネユキ 宗雪修一郎)



No.5

外部研修への講師派遣

■先生向け

①埼玉県消費者研修(埼玉)

日時：2019年7月26日(金)
 テーマ：服から学ぶコミュニケーション・安全・環境と世界

②青葉区幼稚園協会講演会(神奈川)

日時：2020年1月29日(水)
 テーマ：服育～服の力を楽しく学ぶために～

おどろきで学ぶよりも、とて高い時間とじっくり
 こどもとのコミュニケーションの取り方を増やせるように
 色々な場に行き時の子供の服と安全の説明の仕方を
 困ることも、とて助かります。

■保護者向け

服育について親子で考えてもらえるよう、
 着こなしはもちろん安全や環境など
 要望に応じた内容で講演。



No.6

外部イベントへの出展

第11回ユネスコスクール全国大会

日時:2019年11月30日(土)10:00-17:00

場所:福山市立大学

主催:文部科学省 日本ユネスコ委員会

大会テーマ:ユネスコスクールで学ぶもの、
育てるもの — 学習指導要領、
学校経営、地域社会、国際社会
などとの関わりを改めて考える

No.7

メディア取材・掲載

①毎日新聞

(2019年4月29日)

「服育」で衣服に愛着持とう

②日本経済新聞・夕刊

(2019年6月25日)

学校で広がる「服育」

制服の着こなし方、服作りの過程

③読売KODOMO新聞

(2019年10月24日)

働く服ってカッコいい!



No.8

その他情報発信

①学校向け情報誌「SORA」

隔月発行、主に教育関係者を対象に配布

②企業向け情報誌「TAKE」

季刊、主に企業を対象に配布

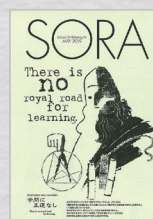
③メルマガ「fukuiku e-journal」

毎月発行

④服育ホームページ

<http://www.fukuiku.net/>

⑤服育 facebook

<https://www.facebook.com/fukuikuchikuma/>

服育 net 研究所

株式会社チクマ キャンパス事業部

〒541-0047 大阪市中央区淡路町 3-3-10

tel.06-6222-3531 fax.06-6222-3614 e-mail fukuiku@fukuiku.net

服育ホームページ <http://www.fukuiku.net/>